

はリンク

はWAMNETの事業者情報にリンク

事業所名

杉宮

日付 平成 20年 10月 27日
特定非営利活動法人

評価機関名 ライフサポート

評価調査員 在宅介護経験15年

評価調査員 介護支援専門員経験5年

自主評価結果を見る

評価項目の内容を見る

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)

1. 評価結果の概要

講評

全体を通して(特に良いと思われる点など)

平成18年2月に設立して、当時母体の特養ホームでの長い経験のあるベテランの職員がグループホームの管理者を任せられ、自分自身の考え方に苦労して2年余りで見事に理想に近いホームに育てた。1年前に訪問させていただいた時に、管理者は見違える程の自信の笑顔と実際のホームの様子を見て、「成る程頑張りましたね。これがあなた方のホームですね」と共に喜んだのを覚えている。まずは功績を称えておきたい。

平成20年度になって、主となる管理者は母体の責任ある立場で去り、新しい管理体制が生まれ、基本的には同じ理念、目標、ケアとサービス体制で進んでいる。ホームとして同じ運営体制で進められるが、今後は管理者や職員の性格や人柄、そして利用者の人柄によって雰囲気はつくり上げられるだろう。

管理者に自分の思いを聞いてみた。一人の管理者は「先ず一番は、事故やケガのないようにという祈りと気遣いです。職員が安全を見て、ついつい早目に手を差し出してしまふ。利用者が自分の出来ることはできるだけ自分でしてもらおうことをモットーとしていますが、利用者にとどこまでしてもらおうのかの見極めが難しい。袋詰めのお菓子をおやつに出す場合、利用者には袋からお菓子を出して食べてもらいたいと考えているけれど、職員の中には紙袋をポケットにしまうので洗濯の時に困ると心配して、予め紙袋からお菓子を出しておやつに出す。あとでその袋を探したらと言うんだけど、そこなんですよ」と言っていることに興味を持った。もう一人の管理者は「利用者の体調や気持ちがある日によって違うので、一律の生活はできない。それぞれの人の様子を見て、一緒にするゲームにしても参加してもらえぬものは何か、無理に参加するようなことはしない方がいいのではないかな等を判断します。利用者の皆さんに楽しく過ごしてもらえよう、それを第一に考えます。利用者はリビングルームで過ごす時間が長いので、その時間をどのように皆で過ごすかを一番大切にしています」

ユニットを結ぶ広いウッドデッキを見ると、椅子を持ち出し、麦わら帽子やタオルを被って利用者の円陣ができ、ハーモニカに合わせて夕焼け子焼けの歌を手拍子を混えてみんなで歌の真最中、楽しい一時を過ごしていた。「さあ、そろそろ中に入ろう。日焼けして真黒クロスケになりそうじゃ」職員の声かけに「そりゃいけん！わたしこれから嫁に行くのに」と冗談が飛び交う。

“笑う門には福来たる”地域の人も、家族も、皆気軽に訪れるホームである。

特に改善の余地があると思われる点

こんなに楽しく過ごせるホームができた。利用者が長く生活する中で、こんなホームを実現した体験を持続させるためには、このホームの重点項目である一人ひとりに沿ったケアを具体的にしていくことであるが、介護計画や記録が日々の利用者の生活で密着していることが大切だと思う。本人のアセスメント情報を継続的に収集して、その人の精神・身体状況から見て何に集中してケアしてあげたら、その人の人間味を維持していけるかを出来るだけ具体的に計画に反映して、日々の状況を記録していけるシステムが必要かと思う。

2. 評価結果（詳細）

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…：設立当初から理念はずっと貫かれており、各ユニットでは具体的な目標を定めて、日々の一つひとつのケアサービスに生かしている。一つは“思いやり、心と心の結ぶ愛の架け橋”他は“笑顔ニコニコ、毎日ワクワク、楽しい暮らし”である。ホームのケアの目標としては申し分ない立派なことである。</p> <p>2、全体的に見て…：このホームの良い事を職員に聞くと、「ホームが明るくて来客が多く、フレンドリーでホームに来やすい」「家族がよく来てくれて、利用者と一緒に過ごしている。家族共話しやすい」「何事にもチャレンジするという気持ちが職員にある」「家庭的な雰囲気をつくり出している」「職員同士の協力関係が良い」等と話してくれた。どれも目標を貫いているものだ。</p>		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…：ホームの土地、建物、外部空間、周りの環境と全く申し分ない立地である。敢えて改善するところはないが、最近このホームを見て言えることは、利用者と職員のホームでの行動と近所の人や地域との交流から、人間のつくるソフトな生活空間が生まれてきたことだろう。これは管理者、職員が日頃利用者として接する気持ち、心の交わりから生まれてきたと思う。生活空間はハード面にプラス、人間のつくるソフトが大切である。</p> <p>2、全体的に見て…：両ユニットの間に作られている広いウッドデッキが利用者の生活の中に定着した。訪問した日は秋の気配を感じる朝だった。利用者がウッドデッキに出て皆で朝の一時を過ごしていた。両方のユニットの利用者が交流の場として活用している記録が多くみられた。</p>		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人のできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…：利用者のケアを続けていく過程で、介護計画の作成と介護や生活の記録を続けていくと、利用者の病気の進行に伴う身体・精神状態の進行をどのようにケアするか、その人の生活をどのように支援しているかを考えられるようになる。介護計画がその人の生活をどうするか重要な方針決定の源となり、記録は職員がケアを続け、利用者にとどのような影響力を持ったかの足跡になり、この計画と記録が利用者にとって密着したものとなり、利用者の生涯に反映したものだと感じる。計画をどのように見直すか、その人のアセスメントをどうするか深く反省し改善しようと考えている。一番大切なところなので、その成果に期待する。</p> <p>2、全体的に見て…：一人ひとりの人生の情報を理解し、身体の状態を見ながら個別ケアに努めているので、あらゆる場面で職員は利用者へ声かけしたり、利用者の中で一緒に過ごしたり、個別の関わっている場面を多く見ることが出来た。</p>		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	災害対策		
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
34	家族への日常の様子に関する情報提供		
35	運営推進会議を活かした取組		
36	地域との連携と交流促進		
37	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…：運営推進会議の成果を踏まえながら、家族・地域の人・行政のメンバーとのコミュニケーションを活用して、メンバーの意見や助言をよく聞き入れ、家族や地域との関わり合い、交流の成果を上げてきた。自主評価で特に改善事項を上げていないが、運営体制全般については、個々の要因にきめ細かい配慮をしながらサービス提供の改善に努めている。</p> <p>2、全体的に見て…：このホームの最高の特長は、職員が安定していることがあげられる。職員は母体からとホームで雇用された人であるが、地元に近い人が多く、職員同士のチームワークが良いことだろう。グループホームという生活の場を提供し、地域性も重んじながら皆で生活をするというホームの特長もよく勉強し今日に至っている。職員が仲良く働いている姿を利用者が一番に見抜いており、利用者が安心して生活できるのも、このホームの良いところである。</p>		